

令和6年度

重要文化財

だいにちやま

和歌山県大日山 35号墳出土品の保存修理

和歌山県立紀伊風土記の丘では、重要文化財和歌山県大日山 35号墳出土品の埴輪及び須恵器の保存・活用をおこなっています。

これらの出土品の一部では、今後の適切な保存と活用のために、令和4年度より順次、抜本的な修理をおこなう保存修理事業を実施しています。

和歌山県大日山 35号墳出土品 (平成28年8月17日指定)

特別史跡岩橋千塚古墳群に所在する県内最大級の前方後円墳 大日山 35号墳 (6世紀前半に築造) から出土した埴輪と須恵器の一括資料です。

特に埴輪は多種多量であり、両面に顔を持つ人物埴輪、翼を広げた鳥形埴輪、胡籙形埴輪などの類例が非常に少ない埴輪に特色があります。古墳墳丘上で行われた儀礼の実態を考えるうえでも、重要な資料と考えられます。なお、大日山 35号墳の現地では、墳丘の整備により埴輪のレプリカを設置し、築造当時の状況を復元しています。

3分割焼成の家形埴輪

翼を広げた鳥形埴輪

轡形埴輪 胡籙形埴輪



水鳥形埴輪

猪形埴輪

犬形埴輪

馬形埴輪

牛形埴輪

※3分割焼成の家形埴輪と胡籙形埴輪の保存修理後の写真は裏面を参照



両面人物埴輪 *写真は同一個体の各面



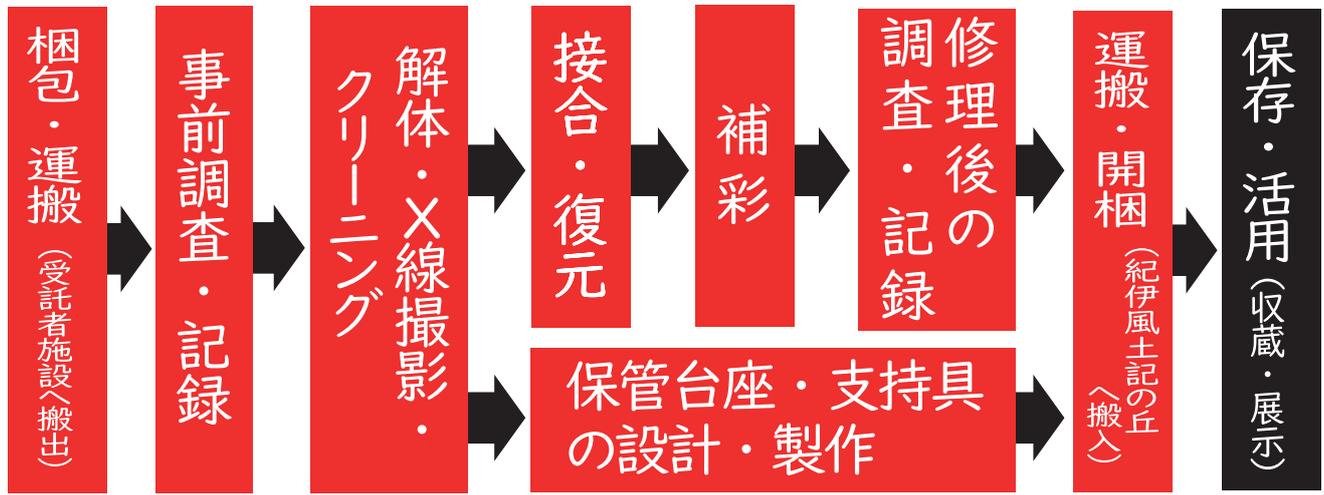
須恵器 甕・大甕



大日山 35号墳東造り出し現状

和歌山県立紀伊風土記の丘

〒640-8301 和歌山市岩橋 1411 TEL 073-471-6123 FAX 073-471-6120
HP/www.kiifudoki.wakayama-c.ed.jp Email/kofun@kiifudoki.wakayama-c.ed.jp



保存修理事業の流れ

令和4～6年度の三か年をかけて、3分割焼成の家形埴輪、胡籬形埴輪の保存修理事業を実施しました。令和6年度は資料の復元と補彩及び、保管台座・支持具の製作を行い、修理の完了した埴輪を紀伊風土記の丘へ搬入し、今後は資料館の展示等により保存・活用を図る予定です。また、令和7年度以降は、新たに馬形埴輪2点の修理を実施する予定です。



復元 (3分割焼成の家形埴輪
[上屋根部/下屋根・身舎部])



補彩 (3分割焼成の家形埴輪[高床部])

3分割焼成の家形埴輪は、上屋根、下屋根と身舎(もや)、高床と基部から構成されるため、全体の形状、各々の向き、高さなどを検討しながら復元を実施しました。欠損部は樹脂で補填しています。

復元後は、アクリル樹脂絵具により樹脂復元部(白色部分)に補彩を行いました。



保存修理後写真 (3分割焼成の家形埴輪) 高さ152cm



保存修理後写真 (胡籬形埴輪) 高さ94cm

保存修理後には、修理前の状況と比較しながら最終の点検・確認作業を行い、修理工程を記録した報告書を作成します。

美術品専用車により紀伊風土記の丘へ搬入し、三か年の事業を完了しました。

写真提供 (公財) 元興寺文化財研究所

令和6年度の保存修理